

会 議 録	
会 議 名	第3回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和3年8月25日(水) 19:00~20:20
場 所	真庭市役所 本庁舎 2階大会議室
出 席 者	<p><出席委員> 13名 有本委員、市川委員、内田委員、岸本委員、清友委員、 佐藤委員、杉本委員、西山委員、原田委員、藤田委員、 前田委員、牧原委員、山下委員</p> <p><欠席委員> 1名 庄司委員</p> <p><事務局> 2名 健康福祉部子育て支援課 石田課長 健康福祉部子育て支援課 硯参事</p>
傍 聴 者 数	傍聴者 19人
次 第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 題 (1) 久世地域における幼児教育施設の在り方について(意見交換から) (2) 少人数園の子どもたちの育ちについて (3) 0~2歳児の受け皿の確保について 4 その他 5 閉 会

1 開 会

(事務局 石田課長)

定刻となりましたので、ただいまから、第3回真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日も、このような遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。

はじめに、お手元の資料等を確認させていただきます。次第、配席表、資料が1と2になります。

不足はございませんでしょうか。不足がある場合は、事務局にお申し付けください。

本日の会議の終了時刻は、午後8時30分を目安としておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして佐藤会長からご挨拶を賜りたいと存じます。

2 会長挨拶

～佐藤会長よりあいさつ～

(事務局 石田課長)

本日は、委員14名中13名の方にご出席いただいております。

過半数に達しておりますので真庭市子ども・子育て会議条例の第5条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、以降の進行は佐藤会長からお願いいたします。

3 議 題

(1) 久世地域における幼児教育施設の在り方について (意見交換から)

(佐藤会長)

前回の会議におきまして、久世地域の園の保護者代表の皆様にご出席をいただきまして、様々なご意見をいただきました。まずは、事務局から前回の意見交換のとりまとめた資料について説明をお願いします。

(事務局 石田課長)

資料の説明に入らせていただく前に、少し、お話をさせていただきたいと思っております。

本日は、会長からありましたように、第2回会議で久世地域の保護者の代表の方に参加していただき、それぞれの園の課題等について、また、久世地域の整備についての思いなど、いろいろな意見をお聞かせいただきましたが、その意見を受けて今回の会議では、子ども・子育て会議委員の皆様のご意見を賜りたいと考えております。

資料の説明に入る前に、第1回会議で説明させていただいたことや、確認さ

せていただいたことを再度、説明させていただきます。

第1回会議で、真庭市では、保護者の多様なニーズや子どもの多様な育ちに対応するため、公営の施設が中心的な役割を担いながら、民営の施設が、多様なニーズに、より柔軟に対応する役割を担うとした、乳幼児期における教育・保育の選択肢を拡げるということを基本的な方向性としていることを説明させていただきました。

民間事業者の参入については、ご検討いただいているわけですが、第1回会議で確認しましたように、この会議で民間の参入を決定するのではなく、久世地域の園整備を検討する中で、公営一択でなく、民間事業者の参入も比較検討する対象に含めて良いかどうかということへのご意見をいただきたいということですので、あらためてこの場で確認をさせていただいております。

この会議は、真庭市全体の子ども子育てについて検討する場でございます。数多く課題がございますけど、今回は特に、「少人数園の子どもたちの育ちについて」や「3歳未満児の受け入れの確保について」についてご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(事務局 硯参事)

～資料1により説明。～

(事務局 硯参事)

今回の会議では、先ほど石田が申しましたように、事務局から委員の皆様には何点かご質問をさせていただき、ご意見をいただければと考えております。

一つ目に「久世地域の幼児教育施設の在り方」についてですが、久世地域の園の保護者に対して実施しましたアンケートの結果や先ほど説明させていただきました資料の1から「園の老朽化について不安である」といったご意見を多くいただきました。また、同時に「現在の園がある場所あるいは周辺環境がとても良い」といったご意見もいただきました。また、会議委員からは、「一番古い建物の整備を中心に考えていってはどうか」といったご意見もいただきました。そこで、委員の皆様には、「久世保育園の整備を中心に考えることについて」また「設置場所について」のご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(佐藤会長)

ただいま、事務局から説明と提案がありましたが、今回の会議は、事務局からの質問事項について委員の皆様にご意見を伺うスタイルで進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

～異議なしの声～

(佐藤会長)

ありがとうございます。それでは、まず、「久世保育園の整備を中心に考えることについて」あわせて「設置場所について」委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

(西山委員)

園の整備については、耐震化するか、建て替えるかという話になると思うが、前回の意見交換の中で、現在の場所に新しい園を建てることを望んでいるということだったと思う。実際に使われている方や地域の方、保育園の先生の思いが反映できたら良いと思う。

(山下委員)

耐震の面から見ても、建て替えは明からだと思う。場所は、現在あるところが良いのでは思う。また、まずは、公立で建てることを考えて、難しいようなら民間でというように順番にしていく方が保護者の理解を得やすいのではと思う。

(佐藤会長)

一番古い建物であり、かつ、定員もオーバーしているような状況で、また、木造でこれから耐震化というのは考えにくいので、久世保育園については建て替えもしくは新しく建てるという方向で考えていっても良いでしょうか。

～異議なし～

(清友委員)

規模について考えたとき、久世第二保育園と一体的に整備した方が良いのではないか。また、民間参入については、公民択一というのではなく、第3セクといった考え方もあるのではないかと思う。

(牧原委員)

久世保育園だけを考えるのではなく、久世地域全体を考えて行けば良いと思う。

(内田委員)

民間が悪いとは思っていない。私立は目引くようなことをするイメージがあるが、愛着をもった取り組みをしていただければありがたいと思う。

(前田委員)

耐震化が遅れていることなど、基本的には公立で建てるべきだと考えるが、公が基本となってそこに民間が賛同するというのであれば問題ないと思う。

(原田委員)

アンケート結果からは民間に期待する声が多かった。仮に民間が参入した場合でも1園のみだろうと思うから、そういった面では競争相手がいないのでどうなのかと思う。

(佐藤会長)

これまでの意見をまとめると、【久世地域においては久世保育園の新築の方向性で考えていくこと】、【場所については、現在の保育園のある場所や近隣も含めて同じ公園の地域内で希望したいということ】、また、【久世第二保育園との一体的な運営に関しても今後検討しなければならないという課題についても意見が出たということ】、【民間参入については、アンケート結果から民間のメリットについて十分理解できるので、民間参入の検討そのものを現段階では否定するものではないが、公立の園の継続も望んでいる。】ということになると思います。

(前田委員)

もし、現段階で民間業者から手が挙がっているようであればどういった状態での参入を考えられているのか情報を教えてもらえないか。

(事務局 石田課長)

どこの事業者で、手を挙げるんだということは把握していますが、詳しい情報については把握しておりません。

(佐藤会長)

仮に民間参入ということになれば、一般的には公募という形をとると思いますし、これに民間が手を挙げるかどうかは別問題だと思います。仮に、民間園ができたとしても、民間が嫌なら行かないという選択肢もあるので、今の段階で、この会議で民間は全くないということを決採って良いのかどうかが一番懸念するところで、最終的に民間が入るかどうかは別にして、現段階では民間参入の門戸を拡げておくほうが多様性ということもあって良いのかなと個人的には思います。民間の園は、途中で撤退するというイメージがあるが、社会福祉法人などは補助等もあり、途中で撤退するという事は少ないですし、京都市では、財政難から一番に決定されたのが公立の園を全て廃止ということでした。こういったことから、民間の選択肢を残しておいた方が将来的には良いと思います。

(事務局 石田課長)

先ほど、久世第二保育園と一体的に考えたらとのご意見をいただきました。前回の意見交換からは、定員規模はあまり多くない方が良いとのご意見もありましたが、委員の皆様は、この規模についてどうお考えか教えていただきたい。

(佐藤会長)

久世第二保育園と一体的になれば、大規模な園になると思いますが、委員の皆様はこの定員規模についてどうお考えでしょうか。

(西山委員)

定員規模が多くなればなるほど先生方の目が行き届かなくなると思う。それぞれの園の地域の特性を活かすことであったり、子どもを育む場として考える

のであれば現状のままの規模が適正と考える。

(牧原委員)

先ほど発言した久世第二保育園と一体的にするということは、決して久世保育園と第二保育園を一緒にするという意味で発言したのではないので誤解のないようお願いしたい。

規模については、100人前後が良いのかなと思う。

(佐藤会長)

定員規模によって先生の数が決まっていることや、園庭が狭くなるなどといったこともあり、新築にあたっては、現在の久世保育園の規模を踏襲するのが良いのではということと、久世第二保育園も含めて久世地域全体のバランスを考えた方向性で進めるということによろしいでしょうか。

(佐藤会長)

それでは、議題の(2)につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局 硯参事)

～資料2により説明。～

(事務局 硯参事)

委員の皆様には、統廃合や廃園といったことではなく、純粹に「少人数園の子どもの育ちについて」どのようにお考えをお聞かせいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(佐藤会長)

「少人数園の子どもの育ちについて」どういった方法があるのかなどといったことになるのではと思いますが、難しい質問になるので、まずは保育の専門の方にお尋ねしたいと思います。

(牧原委員)

ある程度人数がいないと経験できないこともありますが、少人数だからできることもあると思う。前回の意見交換でもあったが、他園との交流や地域との交流といった方法で補えることもある。

(清友委員)

一概には言えないが、小学校の指導の方向性としては、「個別で解決し、それをペアで話し合い、グループで話し合うことにより高め合っていく」こととしている。そのためにはある程度の人数は必要であるが、指導する立場からあえて不足した状況で努力するといった考え方もある。

人数的には24人という数字が良いと考える。

保護者の意向を尊重し、少人数園を残すということを打ち出していないと保護者に不安を与えてしまうことになり問題である。

(佐藤会長)

小人数園という特色を出していくことも必要だと思います。

少人数園であっても小学校や他園との交流や連携といった工夫により不足を補うことを推奨してもらいたいと思います。また、市には、廃園などといったことがないということをしっかり言ってもらって、保護者には安心してもらえる環境作りが大切だと思います。

(佐藤会長)

それでは、議題の(3)につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局 硯参事)

～おなじく資料2により説明。～

(事務局 硯参事)

第1回目の会議で3歳未満の保育需要が増加していることについて情報共有させていただきました。また、アンケート等の中でも3歳未満の受入れについてご意見を多くいただきました。市としましてもこの点につきましては整備ができていない部分だと考えております。

そこで、委員の皆様には、「3歳未満(0・1・2歳児)の子どもを受け皿について」ご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(佐藤会長)

「3歳未満の子どもを受け皿について」のご意見をいただきたいと思います。

(有本委員)

久世こども園は3歳未満の子どもは全くいないということなのか。

(事務局 石田課長)

久世こども園については、3歳クラスからの受入れということになります。米来こども園についても同様です。

(有本委員)

それは園の方針で決まっているのか、先生が足りないということなのか。

(事務局 石田課長)

真庭市の定員の中で決まっていることで、先生が足りないということではございません。

(西山委員)

若い人の移住・定着を目指すのであれば、核家族でも生活できる地域を広げていくべきだと思う。

(佐藤会長)

必要な地域に必要な3歳未満児のクラスを将来的増やしていくことを検討していただきたいという意見だと思います。また、保護者にとって必要と感じる時に預けることができる施設があれば安心できると思います。

(佐藤会長)

様々なご意見が出ました。次回の会議では、本日いただいたご意見を踏まえまして、久世地域の園の在り方、整備の方向性をまとめていきたいと思えます。それでは、事務局にお返しさせていただきます。

4 その他

(事務局 石田課長)

佐藤会長、委員の皆様ありがとうございました。

ここで、今後の会議のスケジュール等について連絡させていただきます。

第2回会議において、保護者の方から、途中経過も含め説明をして欲しい、また、委員からももっと議論をすべきではとのご意見をいただきました。

現在、今後のスケジュール等を検討しておりますが、事務局としましては、第1回、第2回、そして本日、委員の皆様からご意見をいただきまして、ここでいったん保護者の意見を聞くようなことを考えております。コロナ禍の中で方法としてはまだ検討中ではありますが、考えております。保護者からの意見を聞いたものをこの会議に持ってこさせていただきます、さらに、ご議論いただければと思います。次の会議についてはまだ、日程は決まっております。また、会議の回数を増やすべきとのご意見をいただいております。この場であと何回との話は現段階においてはできませんが、当初の計画より増やさせていただきます、11月を目処にとりまとめ等していただければと考えております。ご了承いただければと思います。

5 閉 会

(事務局 石田課長)

それでは、閉会にあたりまして杉本副会長にご挨拶を賜りたいと存じます。

～杉本副会長よりあいさつ～

(事務局 石田課長)

ありがとうございました。以上をもちまして、第3回真庭市子ども・子育て会議を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございました。お気を付けてお帰りください。